

ご挨拶

私の育った地域は、人々のつながりが強い地域でした。田んぼや畑の近くを通れば、声をかけてもらい地域行事のたびに、学校の様子を気にかけてもらいました。地域のみなさんがおられなければ、今の自分はいませんでした。

かつて地域のみなさんからいただいたご恩を今度は私が、次の世代につなげさせてください。

時代は今、大きな転換点を迎えています。加速する技術進歩、激動する世界情勢は、不可逆的な変化をもたらしました。その時代のうねりは、地域においても人口減少、少子高齢化といった問題として表出し、ひとりひとりの生活に、先行きの見えない不安の影を落としています。

こうした先の見えない時代だからこそ政治の世界に、新しい発想と感性が必要です。

次の世代に誇れる出雲を残すために
新たな時代を、みなさんと共に切り開くために
全力を尽くします。

三加茂 圭祐



三加茂けいすけプロフィール

1986年(昭和61年)12月生まれ、38歳。斐川町阿宮で生まれ育つ。政治との出会いは、大学時代の国会議員事務所でのインターンシップ。出雲市役所11年、経済産業省2年の行政経験を経て、政治活動を開始。2歳の娘の父として子育て奮闘中。

2002 斐川町立斐川西中学校卒業

2005 島根県立出雲高等学校普通科卒業

2009 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業

2011 早稲田大学公共経営研究科専門職修士課程修了

2011 出雲市役所入庁 商店街振興等を担当

2015 経済産業省出向 産学連携、
理工系人材育成等を担当

2017 出雲市役所帰任
商工振興、高齢者福祉、
文化スポーツ行政を担当

地域活動等：

早稲田大学出雲地区稲門会 幹事

和田毅後援会 幹事

阿宮地区社会福祉協議会 理事

特技：茶道、卓球



後援会会員募集

「三加茂けいすけ後援会」にあなたのお力をお貸しください。

後援会規約(抜粋)

(目的)

本会は、三加茂けいすけの政治活動を支援し、出雲市の発展と市民生活の向上を図り、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。

(事業)

本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 講演会、座談会等の開催
- 2 会報等の発刊及び配布
- 3 その他本会の目的達成のために必要な事業



後援会入会
申込フォーム

三加茂けいすけ後援会事務所

〒699-0611 出雲市斐川町阿宮408-5

TEL 080-6194-2899

MAIL contact@mikamo-keisuke.jp

<https://mikamo-keisuke.jp>    



公式サイト

討議資料

みかも

三加茂けいすけ

出雲を
次世代に
つなぐ。

#早稲田大学
大学院修了

#出雲市役所

#38歳
1児のパパ

人口減少時代にも 飛躍する出雲市をつくります!

政策 重点政策4本柱



経済

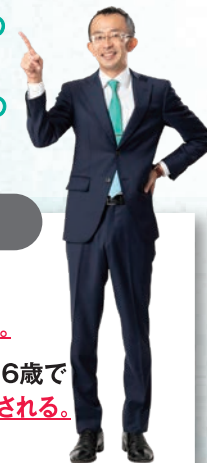
1 力強い地域産業の創出 **最重要**

- 起業家、地元企業が、創業・事業承継に挑戦するためのビジネス環境を整備します。
- 新たな価値創出の取組(産学連携、副業人材の活用、ブランディングなど)を推進します。
- 新たな挑戦のための学び直しを推進します。

課題 本格的な人口減少時代が到来する!

生産年齢人口(15歳~64歳人口)が減少するため**労働力不足がより深刻化する。**

2022年の経営者平均年齢(島根県)は61.6歳であり経営者の高齢化による**廃業の増加が懸念される。**



出雲市役所と経済産業省での
実務経験と
公共経営学専門職修士としての
専門性を活かします!

子育て
教育



2 子育て・教育への積極的投資

- 幼児教育は社会的投資であるとの観点から、保育園・幼稚園・子育て支援センター等の環境整備、保育士の処遇改善を推進します。
- 小中学校において、地域社会と連携した課題解決型の学習を推進します。

少子化に歯止めがかかっていない。

出生数 2015年:1,573人 → 2020年:1,328人
合計特殊出生率 2015年:1.83 → 2020年:1.72

年間教育費が増加し、出産費用等とあわせて家計を圧迫。

一人あたり年間教育費 1970年:2.4万円 → 2017年:37.1万円

福祉



3 暮らしの礎となる福祉の強化

- 高齢者の孤独、フレイル対策に重点を置き、ひとりひとりが健康で長生きできる社会の実現を目指します。※フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階。
- 多様化・複雑化する支援のニーズに対応するため、地域包括支援センター等の支援体制を強化します。

独居高齢者が年々増加している。

独居高齢者数 2015年:8,539人 → 2020年:10,161人

2020年の高齢者のみの世帯数は17,304世帯であり**全世帯の4件に1件が高齢者のみの世帯**となった。

市民の7人に1人が、悩み事・相談事を相談する相手が「特にないない」と回答しており、**孤独・孤立が問題化。**

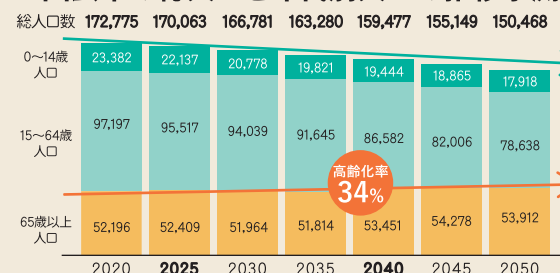
4 デジタル時代の新たな社会づくり

- デジタルテクノロジーを、暮らしの困りごとや社会課題の解決に積極的に活用し、豊かな社会をつくります。
- 昨今増加しているSNSを通じた振り込め詐欺や闇バイトから地域住民と青少年を守るため、デジタル技術の活用と理解を促進する取組を推進します。



デジタル

出雲市の総人口と年代別人口の推移予測



子ども、現役世代が減少する一方
高齢者数の増加が予想される

2040年には
高齢化率が34%に達し
市民の3人に1人が
65歳以上の高齢者に

(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」に基づき作成

